

第3期

久留米市食料・農業・農村基本計画

【令和6年度実績報告・令和7年度実施計画】

「魅力ある農業都市・久留米の発展」



久留米市

1. 令和7年度久留米市予算の概要

久留米市の令和7年度の農林水産業予算は約37.8億円で、一般会計歳出予算約1,593億円の約2.4%を確保しています。

【久留米市一般会計予算 歳出】

	令和7年度 予算額
歳出予算合計	1,593.0億円
農林水産業費(全体予算比)	37.8億円(2.4%)

【農林水産業費(目的別)】

区分		金額(千円)
農業費		3,559,078
	農業委員会費	148,324
	農業総務費	644,668
	農業振興費	930,265
	畜産業費	106,171
	農地費	1,178,427
	国土調査費	1,095
	農業開発費	550,128
林業費		214,132
	林業総務費	65,315
	林業振興費	148,817
水産業費		2,957
	水産業振興費	2,957
合計		3,776,167

【特別会計】

事業名	金額(千円)
卸売市場事業	403,000
農業集落排水事業	275,000

2. 第3期計画の施策体系

(1) 基本的な考え方 「市民みんなで参加する久留米の食と農」

(2) 全体目標 「魅力ある農業都市・久留米の発展」

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業産出額（農政課）	億円	325 (H29)	292 (R1)	286 (R2)	290 (R3)	300 (R4)	310 (R5)	329 (R6)
認定農業者数（農政課）	経営 体	868	841	847	836	835	831	900
認定農業者における法人の 割合（農政課）	%	11.6	13.2	14.2	14.0	14.4	14.6	18.6
農業都市久留米の認知度 （農業の魅力促進課）	%	61 (R1)	—	34.2	36.3	61.4	64.1	70
農業都市久留米の愛着度 （農業の魅力促進課）	%	52.1 (R1)	—	53.7	41.6	45.1	45.8	60

(3) 5つの基本施策

条例の「食料」「農業」「農村」の各分野の基本理念を踏まえ、各基本施策を推進します。

また、国・県や農業団体等と連携するとともに、農業分野以外の関係団体等との連携や市民との協働の視点を意識しながら各事業を実施します。

基本施策	主要施策
基本施策Ⅰ 担い手の育成・確保と労働力の確保	1. 基幹的な担い手の経営力強化
	2. 将来の担い手の確保と育成
	3. 多様な人材の活用
基本施策Ⅱ 生産性・収益性の高い農業経営の実現	1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興
	2. 効率的な生産体制の確立
	3. 安全で安定的な農産物の提供
基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の確立	1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進
	2. 農地の有効利用の促進
	3. 農業・農村の持つ多面的機能の発揮
基本施策Ⅳ 「農業都市・久留米」の理解促進	1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上
	2. 地産地消を通じた魅力発信
	3. 農業の公益的機能等の理解促進
基本施策Ⅴ 多様な農業への挑戦	1. 農業経営の多角化
	2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

3. 施策ごとの「令和6年度実績報告」及び「令和7年度実施計画」

【基本施策Ⅰ】 担い手の育成・確保と労働力の確保

基幹的担い手である認定農業者や将来を担う青年就農者の確保と育成を図るとともに、農業生産力の維持・拡大のため、外国人材の活用や農福連携など、県や農業団体等と連携して、新たな労働力の確保に向けた取組を推進します。

1. 基幹的な担い手の経営力強化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業収入 2 千万円以上の認定農業者の割合（農政課）	%	43	47	49	51	52	52	57
認定農業者における女性の割合（農政課）	%	6.5	6.5	6.4	6.4	6.4	7.7	10.0



① 認定農業者等の経営力強化

<p>認定農業者の認定 新規認定者や再認定者の農業経営改善計画の作成支援を行った。 ・ R6 年度末 831 経営体（前年-4） 新規認定 34 件、再認定 175 件</p>	<p>認定農業者の認定 農業経営改善計画の作成支援や再認定の際にフォローアップを行うとともに、電子申請の活用など、申請の効率化を図る。</p>	農政課
<p>農業経営支援研修会 認定農業者や集落営農組織、関係機関を対象に研修会を開催した。 ・ 開催日：R7.2.5、参加者 39 人 ・ 基調講演 演題：「天気と農業」 講師：（一財）日本気象協会九州支社 手嶋 準一 氏 ・ 事例発表 演題：「外国人実習生と作る農業経営」 講師：有限会社千広農産 代表取締役 稲吉 広樹 氏 演題：「農福連携の輪を広げる」 講師：（一社）THE CHALLENGED 代表理事 山内 朋子 氏 （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）</p>	<p>農業経営支援研修会 認定農業者等の経営力（経営改善・知識の習得）向上を図るため、農政情報の発信や農業経営の参考となる研修会等を開催する。 （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）</p>	農政課
<p>認定農業者協議会活動支援 地元農畜産物の PR 活動としての子ども食堂への農産物の寄付や両替町公園での野菜配布、不登校児童・生徒の稲刈り体験などの組織活動に対して支援を行った。</p>	<p>認定農業者協議会活動支援 認定農業者の組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。</p>	農政課

R 6 年度 実績報告	R 7 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

② 土地利用型農業の経営基盤強化

<p>集落営農法人化支援事業 事業実績なし</p>	<p>集落営農法人化支援事業 集落営農組織が法人化する場合に、法人設立時の初期費用や人材育成、確保等に係る費用を支援する。 ・補助額：1年目 1,000千円/組織 2・3年目 500千円/組織</p>	農政課
--------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

③ 女性農業者の人材育成

<p>女性農業者の経営参画支援 (農業経営支援研修会(再掲)) ・開催日：R7.2.5、参加者39人(うち女性6人) ・基調講演 演題：「天気と農業」 講師：(一財)日本気象協会九州支社 手嶋 準一 氏 ・事例発表 演題：「外国人実習生と作る農業経営」 講師：有限会社千広農産 代表取締役 稲吉 広樹 氏 演題：「農福連携の輪を広げる」 講師：(一社)THE CHALLENGED 代表理事 山内 朋子 氏 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	<p>女性農業者の経営参画支援 県の事業等の活用もしながら、女性農業者の経営発展や経営参画に向けた取組に対して支援を行う。</p>	農政課
<p>就農女性のネットワーク構築支援 若手女性農業者グループ主催による講座開催等の自主活動を支援した。 玉葱の定植体験(荒木保育園) 開催日：R6.12.5 参加者：美農女くるめ5名、園児約20名 (事業主体：久留米市農業振興協議会)</p>	<p>就農女性のネットワーク構築支援 女性農業者の経営力向上やネットワーク構築を図るため、県普及指導センターやJAと連携し、若手女性農業者等を対象とした研修会・交流会を開催する。</p>	農政課
<p>女性農業者の活動支援 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。 ・上記活動の支援</p>	<p>女性農業者の活動支援 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。</p>	農政課

R 6 年度 実績報告	R 7 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

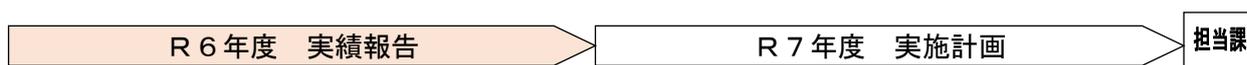
④ 女性農業者が活躍できる環境整備

<p>女性認定農業者の推進 女性認定農業者の増加促進を図るため、認定農業者の申請(更新)時に共同申請を促すとともに家族経営協定制度のチラシを配付するなど、周知・啓発に努めた。 ・R6年度共同申請認定数 新規6件(うち女性含む1件) 更新36件(うち女性含む12件) ・R6年度家族協定締結数 21件 (うち女性含む15件)</p>	<p>女性認定農業者の推進 女性の農業経営への参画を促す手段として、認定農業者の共同申請や家族経営協定の締結に向け、認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で周知・啓発を図る。</p>	農政課
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

男女共同参画に向けた意識啓発 各種協議会や農業表彰の推薦の依頼時、研修案内時等に各農業団体に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。	男女共同参画に向けた意識啓発 各種協議会や農業団体等に対し、男女共同参画に向けた啓発を行う。	農政課
女性農業者の実態調査 R3 年度に実施した、女性農業者実態調査の結果を踏まえて、女性農業者の活躍促進に向けた取組を図った。	女性農業者の実態調査 R3 年度に実施した、女性農業者実態調査の結果を踏まえて、女性農業者の活躍促進に向けた取組を図る。	農政課

2. 将来の担い手の確保と育成

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
経営開始 5 年目の農業収入 1 千万円以上の割合 (農政課)	%	55.2	48.1	48.3	51.5	49.3	49.3	60



① 新規就農者の育成

新規就農者育成総合対策 (経営発展支援事業・経営開始資金)・農業次世代人材投資事業 (経営開始型) 新規就農希望者の個々の状況に応じて就農へ向けたアドバイスや就農計画の作成支援、就農後の指導等を行った。 ●経営発展支援事業 ・補助実績：3名 16,881 千円 ●経営開始資金 ・補助実績：19名 28,500 千円 ●農業次世代人材投資事業 ・補助実績：16名 (継続交付分のみ) 14,849千円	新規就農者育成総合対策 ●経営開始資金 国の事業を活用し、普及指導センターやJA、農業委員会等と連携を図りながら、新規就農者の就農直後3年間の経営確立を支援する。 ・補助額：最大 1,500 千円/年 (国 10/10) ●経営発展支援事業 国事業を活用し、新規就農者が初期投資として行う機械・施設の導入等を支援する。 【通常枠】 ・補助対象事業費：最大 10,000 千円 ・補助率：国 1/2、県 1/4、本人 1/4 【地域計画早期実現支援枠】 ・補助対象事業費：最大 18,000 千円 ・補助率：国 1/3	農政課
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

R6年度 実績報告	R7年度 実施計画	担当課
<p>経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための営農基礎講座及び新規就農者のネットワーク構築のための新規就農者のつどいを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 営農基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 開催日：R6.7.24 参加者17名 内容：講義「農薬の正しい使い方」「土づくりの基礎、たい肥の効果と選び方」 ・ 第2回 開催日：R6.7.25 参加者49名 内容：講演「農業経営における経営管理のポイント ～儲かる農家になるために～」 ● 新規就農者のつどい 開催日：R6.10.29 参加者16名 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会) 	<p>経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための講座やネットワークの構築に向けた研修会等を開催する。</p>	農政課
<p>経営継承・発展等支援事業 農業経営を全部継承した対象者に対し、継承後の経営発展に向けた取組(機械の購入・県GAPの取得)を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績：1件、1,000千円 	<p>経営継承・発展等支援事業 将来にわたって地域での農業を担う経営体を確保するため、農家の後継者が行う販路開拓や新品种の導入等の取組みを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助額：上限1,000千円(国1/2、市1/2) 	農政課

②青年農業者の活動支援

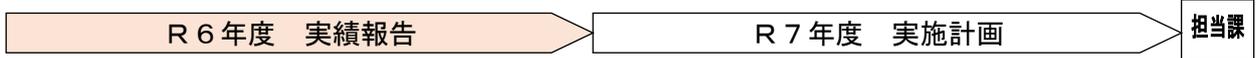
<p>4Hクラブの活動支援 4Hクラブの組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績：3団体、610千円 	<p>4Hクラブの活動支援 若い青年農業者(概ね30歳未満)で組織する4Hクラブの組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。</p>	農政課
<p>海外研修支援 支援対象となる農業担い手海外セミナーが中止となったため、本事業の助成もなかった。</p>	<p>海外研修支援 海外研修に参加するチャレンジ精神旺盛な農業経営者を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業後継者海外研修事業 国際的視野を持つ農業後継者を育成する海外研修への支援 ・ 補助額：上限100千円(市1/4) 	農政課
<p>次世代のリーダー育成 若手就農者等の交流促進と資質向上を目的とする新規就農者自主活動グループの活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体名：NEW AGRI くるめ 参加人数：8人 (事業主体：久留米市農業振興協議会) 	<p>次世代のリーダー育成 若手農業者や後継者を対象に、交流促進と資質向上を目的とする新規就農者自主活動グループの活動を支援する。</p>	農政課

③新規就農の促進

<p>就農相談 県普及指導センターや JA と連携して、就農相談を実施し、相談者の個々の状況に応じた就農へのアドバイスや各種事業の案内を行うとともに、青年等就農計画の作成支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就農相談件数：114 件（68 人） ・ 認定新規就農者：3 経営体 	<p>就農相談 県普及指導センターや JA と連携して、就農相談を実施するとともに青年等就農計画の作成に向けた支援を行うとともに、関係機関と情報共有を行い、新規就農者に農地・ハウスの情報提供を行う。</p>	農政課
<p>農業の魅力発信 新規就農セミナー・相談会のブース出展や小学生向け農業すごろくの作成・配布、相談窓口での就農支援を通じて、本市農業や就農の魅力発信した。</p>	<p>農業の魅力発信 本市で活躍している新規就農者や青年就農者、認定農業者、女性農業者等について Web や様々な機会を捉えて発信する等、本市農業や就農の魅力発信する。</p>	農政課
<p>新規就農短期研修事業 本格的な研修段階における研修中止や就農直後の離農を防ぎ、就農定着を図るため、新規就農希望者の就農イメージ醸成を目的とした短期研修の制度構築を行った。</p>	<p>新規就農短期研修事業 本格的な研修段階における研修中止や就農直後の離農を防ぎ、就農定着を図るため、新規就農希望者の就農イメージ醸成を目的とした短期研修を実施し、知識・技術の習得や地域農業者との関係構築を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規就農短期研修事業費補助 短期研修を実施する農業者等への支援 ・ 補助額：3千円/日（最長20日間） 事業主体：久留米市担い手育成総合支援協議会 	農政課
<p>就農定着サポート事業 新規就農者の初期負担軽減を図るため、生産資材等の購入にかかる費用を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績：2 件、400 千円 	<p>就農定着サポート事業 就農当初の負担軽減を図るため、生産資材の購入に係る費用を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助額：上限 200 千円 ・ 補助率：1/2 	農政課

3. 多様な人材の活用

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農作業の受託に新たに取り組む障害者就労継続支援事業所数 (農政課)	事業所	—	2	2	2	2	2	3



①農福連携の推進

<p>県普及指導センターや JA、市障害者福祉課と連携し、イチゴの作業難易度表・農福連携マニュアルの作成を行った。また、希望する生産者・福祉事業所で試験的に農福連携を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチゴ作業難易度聞き取り (R6.7月) ・マニュアル事例調査 (R6.10、12月) ・お試し農福連携 (R7.1月) <p>(事業主体：農業振興協議会 経営振興部会)</p>	<p>県普及指導センターや JA と連携し、農業経営体の新たな人材確保として障害者就労支援事業所を対象とした研修会等を開催する。 (事業主体：農業振興協議会 経営振興部会)</p>	農政課
<p>障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して研修会での事例発表を行った。 (農業経営支援研修会 (再掲))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R7.2.5、参加者 39人 ・事例発表 演題：「農福連携の輪を広げる」 講師：(一社)THE CHALLENGED 代表理事 山内 朋子 氏 <p>(事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	<p>障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して法令や制度等に関する研修会等を開催する。</p>	農政課

②外国人材の活用

<p>外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者等を対象に法令や制度改正の研修を実施した。 (農業経営支援研修会 (再掲))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R7.2.5、参加者 39人 演題：「外国人実習生と作る農業経営」 講師：有限会社千広農産 代表取締役 稲吉 広樹 氏 <p>(事業主体：担い手育成総合支援協議会)</p>	<p>外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者を対象に研修会を開催する。 (事業主体：担い手育成総合支援協議会)</p>	農政課
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	-----

【R7年度 施策の方向性】

【基本施策Ⅰ】 担い手の育成・確保と労働力の確保

農業の持続的な発展のためには、基幹的な担い手である認定農業者や集落営農組織をはじめ、将来の担い手や多様な人材の確保と育成が必要である。

基幹的な担い手の経営力強化のため、県や農業団体等と連携し、認定農業者の認定に向けた農業経営改善計画の作成支援や、認定農業者等の経営改善に向けた研修会の開催、女性農業者の経営参画に向けた人材育成や意識啓発等に取り組む。

また、水田農業を維持・発展していくためには、土地利用型農業の中心的な担い手である集落営農組織の安定的な経営が重要であることから、令和6年度に策定した地域計画を推進しながら、農地集積等による規模拡大や、法人化も含めて効率的な経営を図る農業経営体の支援を行っていく。

将来の担い手の確保と育成については、就農前から就農後の営農定着まで、国事業も活用しながら関係機関と連携してきめ細かな支援を行っていく。また、新規就農セミナー等で本市農業や就農の魅力について発信を行い市外からの就農者確保に取り組むとともに、子どもへの農業の魅力発信により職業としての農業の理解促進を行う。

労働力不足を解消するため、外国人受入や障害者雇用に関する研修会の開催などに取り組み、多様な人材の活用を目指す。また、農業支援サービス事業者の活用などによる省力化の取組についても進めていく。

【基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現

競争力のある産地を育成し、高い生産力を維持するため、生産施設や機械等の導入を支援するとともに、少ない労働力で収益性の高い農業を目指し、低コストのスマート農業の導入を推進します。

1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
主要野菜の生産量 (生産流通課)	t	28,169	29,528	31,377	27,184	27,688	28,360	31,950

R6年度 実績報告	R7年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

①「米麦大豆」の振興

<p>経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な交付金 <ul style="list-style-type: none"> 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） <p>（事業主体：久留米市水田農業推進協議会）</p>	<p>経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者の所得向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な交付金 <ul style="list-style-type: none"> 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） <p>（事業主体：久留米市水田農業推進協議会）</p>	生産流通課
<p>ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入などに係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績： <ul style="list-style-type: none"> [ハード] 1件、328千円 [ソフト] 1件、200千円 	<p>ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入などに係る経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率： <ul style="list-style-type: none"> [ハード] 4/10 [ソフト] 1/2 	生産流通課

②「野菜」の振興

<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業</p> <p>●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：95件、354,169千円 (県292,180千円、市32,989千円) R7へ繰越：1件、31,900千円 (県29,000千円、市2,900千円) 主な内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など <p>●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：6件、10,184千円 (国9,259千円、市925千円) R5からの繰越：9件、269,984千円 (国255,564千円、市14,420千円) R7へ繰越：3件、71,949千円 (国66,119千円、市5,830千円) 主な内容：低コスト耐候性ハウス整備、夏期高温資材など 	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業</p> <p>県農林事務所や JA と連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 ●産地生産基盤パワーアップ事業 ・補助率：国1/2、市1/20 	生産流通課
<p>●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補事業 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：6件、10,184千円 (県9,259千円、市925千円) 主な内容：浸水防止壁、排水ポンプの設置など 	<p>●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補事業 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20 	生産流通課
<p>●園芸農業 DX 推進事業費補助金 物価高騰に伴う生産コストの上昇を受け、燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：17 件、52,945 千円 (県 48,096 千円、市 4,849 千円) 主な内容：高性能省力機械の導入、パイプハウス及び附帯施設 	<p>●園芸農業 DX 推進事業費補助金 物価高騰に伴う生産コストの上昇を受け、燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県 1/2 、市 1/20 	生産流通課

③「果樹」の振興

<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：95件、354,169千円 （県292,180千円、市32,989千円） R7へ繰越：1件、31,900千円 （県29,000千円、市2,900千円） ・主な内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など</p>	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 農林事務所やJAと連携し、果樹の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20</p>	生産流通課
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------

④「緑花木」の振興、⑤「花き」の振興

<p>商談会等出展支援 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援した。 ・実績 2 件 54 千円</p>	<p>商談会等出展支援 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円）</p>	農業の魅力促進課
<p>生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PR イベント等への取組に対して支援を行った。 ●植木花卉振興対策事業 ・補助実績：6 団体、4,600 千円 福岡県苗木農協、くるめ緑花センター協同組合、久留米花卉園芸農協、久留米市花卉生産組合、久留米地域植木・花卉市場連絡協議会、田主丸町植木農協 ●地域特産物普及推進対策事業 ・補助実績：3 団体、2,470 千円 久留米つつじまつり実行委員会、久留米菊花振興会、グリーンフェスティバル実行委員会 ●久留米産花卉のPR 令和 6 年 11 月 9 日、10 日に開催されたふるさとくるめ農業まつりでは、会場内でアンケート調査及び久留米産花卉の配布を行い、PR を行った。 （久留米地域植木・花卉市場連絡協議会）</p>	<p>生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PR イベント等への取組に対して支援を行う。</p>	農業の魅力促進課
<p>●フラワー都市交流事業 全国 9 都市の加盟都市が一堂に集うフラワー都市交流連絡協議会総会及び関連事業に参加し、久留米つつじの魅力を PR した。 日 時：令和 6 年 4 月 25 日～26 日 開催自治体：砺波市</p>	<p>●フラワー都市交流事業 全国 9 都市の加盟都市が一堂に集うフラワー都市交流連絡協議会総会及び関連事業に参加し、久留米つつじの魅力を PR する。 日 時：令和 7 年 5 月 14 日～15 日 開催自治体：大野町</p>	農業の魅力促進課

⑥「畜産」の振興

<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援した。 ・補助実績：1件、1,649千円 優良雌牛 19 頭、受精卵 0 個</p>	<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援する。 ・補助率：優良雌牛 1/5 受精卵 1/2</p>	生産流通課
<p>乳牛共進会事業 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助実績：0千円※伝染病のため未開催</p>	<p>乳牛共進会事業 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助率：1/2</p>	生産流通課
<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、560千円</p>	<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 ・補助率：1/2</p>	生産流通課
<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、2,924千円</p>	<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行う。 ・補助率：1/3</p>	生産流通課
<p>博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費および飼養規模拡大に係る施設・機械の整備等に対して支援を行った。 【子牛確保対策】 ・補助実績：1件、頭数83頭、4,316千円 【出荷増頭対策】 ・補助実績：3件、9,933千円</p>	<p>博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費および飼養規模拡大に係る施設・機械の整備等に対して支援を行う。 【子牛確保対策】 ・補助率（額）：52 千円/増頭数 【出荷増頭対策】 ・補助率：1/2</p>	生産流通課

2. 効率的な生産体制の確立

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
スマート農業に取り組む農家数 (生産流通課)	戸	3	21	35	52	86	117	21 (累計)



①生産施設や機械等の導入支援

<p>水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農業において、農作業の集約化、生産コスト低減及び生産規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人並びに認定農業者）に対し、高性能農業機械の導入に要する経費を支援した。 ・補助実績：10件、27,509千円 (県18,336千円、市9,173千円) ・内容：トラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機 等</p>	<p>水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農業において、農作業の集約化、生産コスト低減及び生産規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、高性能農業機械の導入並びに大規模な改修に要する経費を支援する。 ・補助率：県1/3、市1/6</p>	生産流通課
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------

<p>水田農業 DX 農業推進事業 水田農業において、デジタル技術の活用による生産管理の効率化並びに経営規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人並びに認定農業者）に対し、スマート農業機械の導入に要する経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：24 件、107,128 千円 (県 71,409 千円、市 35,719 千円) 内容：トラクター、コンバイン、田植機、ドローン、自動操舵システム 等 	<p>水田農業 DX 農業推進事業 水田農業において、デジタル技術の活用による生産管理の効率化並びに経営規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、スマート農業機械の導入に要する経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県 1/3、市 1/6 	生産流通課
<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲）</p> <p>●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：95件、354,169千円 (県292,180千円、市32,989千円) R7へ繰越：1件、31,900千円 (県29,000千円、市2,900千円) 主な内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など <p>●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：6件、10,184千円 (国9,259千円、市925千円) R5からの繰越：9件、269,984千円 (国255,564千円、市14,420千円) R7へ繰越：3件、71,949千円 (国66,119千円、市5,830千円) 主な内容：低コスト耐候性ハウス整備、夏期高温資材など 	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲） 県農林事務所や JA と連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 ●産地生産基盤パワーアップ事業 補助率：国1/2、市1/20 	生産流通課
<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：8件、15,210千円 (県13,731千円、市1,479千円) 	<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 	生産流通課
<p>農業機械・施設災害復旧支援事業（災害） 【R6 繰越分】 R5.7 月大雨により被災したハウス施設や農業用機械の再取得、修繕等に係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設復旧 補助率：県 8/10 補助実績：95 件、67,945 千円 機械復旧 補助率：県 5/10、市 3/10 補助実績：58 件、55,064 千円 災害回避 補助率：県 5/10、市 3/10 補助実績：67 件、111,290 千円 		生産流通課

<p>米麦の種子生産担い手支援事業【9月補正】 安全で安心な米麦種子の生産性の向上を図るため、米麦の種子生産に必要な穀物乾燥機（種子用に限る）の導入に要する経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県 1/2、市 1/20 補助実績：1 件、1,239 千円 （県：1,127 千円、市：112 千円） 	<p>米麦の種子生産担い手支援事業 安全で安心な米麦種子の生産性の向上を図るため、米麦の種子生産に必要な穀物乾燥機（種子用に限る）の導入に要する経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：県 1/2、市 1/20 	生産流通課
<p>制度資金の利子補給 機械等を導入する場合に活用する農業経営体育成資金（スーパーL）や、災害復旧等に対する制度資金に対し、利子の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営体育成資金（L資金）利子助成実績：4 件、56 千円 （県 28 千円、市 28 千円） 	<p>制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金、災害復旧等に対する制度資金について、利子の助成を行う。</p>	農政課

3. 安全で安定的な農産物の提供

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
GAP を取得した農業団体等の数（生産流通課）	団体	6	6	6	8	11	14	12 (累計)
有害鳥獣による農産物被害額（農村森林整備課）	千円	36,755	38,981	48,382	46,003	44,067	41,307	33,080



①安全な農産物の生産

<p>GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取り組みであるGAPの認証取得等に係る費用を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：[JGAP] 1件、75千円 [GAP認証取得支援] 187千円 	<p>GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取組である GAP の認証取得等に係る費用を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：1/2（上限 500 千円） 	生産流通課
<p>環境保全型農業直接支払事業 環境保全に効果の高い営農活動（カバークロープ、堆肥の施用、有機農業）に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助実績：8 件、4,812 千円 	<p>環境保全型農業直接支払事業 化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：国1/2、県1/4、市1/4 	生産流通課
	<p>有機 JAS 取得支援事業費補助金（新規） 有機農業の普及・拡大のため、有機 JAS 認証取得にかかる費用を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：定額（上限：100 千円） 	生産流通課

②安定的な農産物の生産

<p>災害回避に向けた啓発・促進 県の事業を活用し、災害回避に向けた啓発・促進に取り組んだ。</p>	<p>災害回避に向けた啓発・促進 県の事業を活用し、浸水防止壁の設置等に対する支援を行うなど、災害回避に向けた啓発・促進に取り組む。</p>	<p>生産流通課</p>
<p>野菜価格安定対策事業 野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行った。 ●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15（※負担割合の例外品目の場合：国1/2、県1/4、市1/20、生産者1/5） ・対象：JAくるめ(小松菜、いちご、夏秋きゅうり)、JAみい(春菊、三つ葉、ニラ、水菜)、JA福岡大城(アスパラガス)</p>	<p>野菜価格安定対策事業 国の事業を活用し、野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行う。 ●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15（※負担割合の例外品目の場合：国1/2、県1/4、市1/20、生産者1/5）</p>	<p>生産流通課</p>
<p>●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10 生産者4/10 ・対象：JAくるめ(葉ねぎ)、JAにじ(いちご)、JAみい(ほうれん草、青ネギ、小松菜)、JA福岡大城(青ネギ、いちご)、JAみづま(いちご) (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)</p>	<p>●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10、生産者4/10 (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会) 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発・促進に取り組む。</p>	<p>生産流通課</p>

③有害鳥獣広域防除対策事業

<p>有害鳥獣広域防除対策協議会 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援した。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：8,970千円（市補助6,840千円） ・主な捕獲実績：イノシシ367頭 カラス788羽 ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費10,226千円（国補助10,226千円） 事業内容：電気柵 11戸 3,270m ワイヤー柵 26戸 9,840m</p>	<p>有害鳥獣広域防除対策協議会 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援する。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：8,970千円（市補助6,840千円） ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費 8,730千円（国補助8,730千円） 事業内容：電気柵 15戸 15,120m ワイヤー柵 17戸 7,180m ※事業費等は内報がでていないため要望額</p>	<p>農村森林整備課</p>
<p>鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行った。 ・被害調査件数：49件 地域ぐるみの研修会 有害鳥獣の専門家を講師として招き放置された果樹の除去や隠れ場所になる藪の刈込みなど、鳥獣を集落内に寄せ付けないための環境づくりの研修会を実施した。 ・開催地区：3地区（草野・山本・高良内）</p>	<p>鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行う。 地域ぐるみの研修会 有害鳥獣の専門家を講師として招き放置された果樹の除去や隠れ場所になる藪の刈込みなど、鳥獣を集落内に寄せ付けないための環境づくりの研修会を実施する。</p>	<p>農村森林整備課</p>

④卸売市場の施設整備

主な改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫棟（青果）外壁爆裂補修塗装屋根・笠木防水改修工事 （事業費 28,908 千円） ・ 水産事務所棟庇屋根板金補修・塗装 （事業費 8,953 千円） ・ 冷蔵庫棟プラットフォーム屋根拡張改修工事設計 （事業費 3,807 千円） ・ 青果事務所棟外壁塗装改修工事設計 （事業費 1,465 千円） 	主な改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青果事務所棟外壁塗装改修工事 （予算 48,476 千円） ・ 排水管改修工事設計業務 （予算 4,150 千円） ・ 野菜低温売場改修等設計 （予算 2,625 千円） ・ 製氷機更新設計 （予算 2,457 千円） ・ 青果棟仲卸通路 LED 改修工事設計 （予算 1,318 千円） ・ 新物流システムセンター庇上鉄骨塗装設計 （予算 1,209 千円） 	中央卸売市場
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

【R7年度 施策の方向性】

【基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現

《生産振興・効率的な生産体制の確立》

土地利用型農業においては、生産農家の経営安定を図るために、国の経営所得安定対策事業等を活用し、米・麦・大豆・飼料用米等の生産を支援するとともに、需要に応じた米の生産を図っていく。

また、市民が求める安全で安心できる農産物の生産が行われるとともに、収益性の高い農業を推進するため、国・県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、デジタル技術を活用したスマート農業を推進し、経営規模の拡大・省力化を進め、生産者の所得向上を図っていく。

さらには、花きや緑花木の持つ癒しや魅力の情報発信に取り組み、各生産団体が行う販路拡大や栽培技術の向上に資する取組に対して、引き続き支援を行い、生産振興を図っていく。

《安全で安定的な農産物の提供》

市内の農産物をイノシシ・ドバト・カラス等の被害から守るため、生産者や猟友会、市で構成された「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」で有害鳥獣からの適正な防除やその駆除の実施、放置された果樹の除去や隠れ場所となる藪の刈込みなど、鳥獣を集落内に寄せ付けない環境づくりの取組を促進していく。

また、久留米産農産物の安心・安全に係る取組を強化するため、農業団体や県・市で構成された「農薬安全使用対策協議会」等が取り組む農薬安全使用講習会の開催を支援するとともに、農業団体や生産者等が行う残留農薬の自主検査等の取組を支援していく。

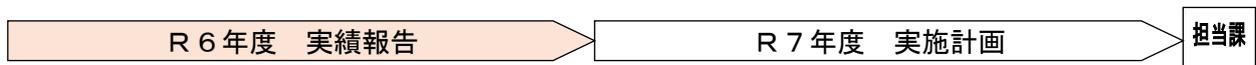
【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立

将来にわたって生産効率の高い営農を維持・向上するため、農業生産基盤の整備や長寿命化対策を進めるとともに、災害を未然防止・減災するための農業施設の整備・改修に取り組みます。

また、農地の有効利用を促進するとともに、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図ります。

1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ため池や排水機場等の 整備・改修件数 (農村森林整備課)	施設	—	0	0	4	5	7	8 (累計)



① 農業生産基盤の整備・改修

R6年度 実績報告		R7年度 実施計画		担当課																								
<p>農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施地区数：14 地区 主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 事業費：244,568 千円 地元負担金：54,933 千円 		<p>農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施地区数：8 地区 主な施設：揚水機場・ゲート・用水路 事業費：373,489 千円 地元負担金：91,783 千円 		農村森林整備課																								
<p>農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県営農地防災事業負担金：21,045 千円 県営水利施設整備事業負担金：10,850 千円 		<p>農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等及び排水機場の新設を行い、洪水による災害の未然防止を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県営農地防災事業負担金：36,253 千円 県営水利施設整備事業負担金：47,000 千円 		農村森林整備課																								
<p>生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納 		<p>生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納 		農村森林整備課																								
<p>農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>18</td> <td>3,505</td> <td>78,365</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>7</td> <td>1,022</td> <td>49,238</td> </tr> </tbody> </table>		工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	18	3,505	78,365	用排水路	7	1,022	49,238	<p>農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>13</td> <td>3,070</td> <td>78,000</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>10</td> <td>888</td> <td>63,000</td> </tr> </tbody> </table>		工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	13	3,070	78,000	用排水路	10	888	63,000	農村森林整備課
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																									
農道	18	3,505	78,365																									
用排水路	7	1,022	49,238																									
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																									
農道	13	3,070	78,000																									
用排水路	10	888	63,000																									

R 6 年度 実績報告		R 7 年度 実施計画		担当課
防災重点農業用ため池対策事業【R5 繰越】 防災重点農業用ため池について、「劣化状況評価」を実施した。 ・補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務 15 箇所 ・地震・豪雨耐性評価業務 4 箇所 ・ため池廃止設計 1 箇所	防災重点農業用ため池対策事業【R6 繰越】 防災重点農業用ため池について「劣化状況評価」、「地震・豪雨耐性評価」を実施する。 補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務 10 箇所 ・地震・豪雨耐性評価業務 6 箇所 ・ため池廃止工事 1 箇所	農村森林整備課		
防災重点農業用ため池浚渫事業 防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施した。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 3 業務(4 池) ・水利施設管理強化事業 1 6 池	防災重点農業用ため池浚渫事業 防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施する。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 4 箇所 ・水利施設管理強化事業 2 4 池	農村森林整備課		
農業用施設浸水対策事業 浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備・改修に取り組み、浸水被害の軽減を図った。 ・農業用施設整備・改修工事 5 箇所	農業用施設浸水対策事業 浸水被害の軽減を図るため、浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備・改修に取り組む。 ・農業用施設整備・改修工事 3 箇所	農村森林整備課		
流域湛水減災対策事業 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 7 箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 7 箇所 クリーク護岸改修工事 6 箇所	流域湛水減災対策事業 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 5 箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 1 5 箇所 クリーク護岸改修工事 6 箇所	農村森林整備課		

2. 農地の有効利用の促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
耕作放棄地の面積 (農業委員会)	ha	104	104	99	98	94	91	95
認定農業者等の農地 利用集積率 (農政課)	%	54	57	56	57	59	57	60

R 6 年度 実績報告		R 7 年度 実施計画		担当課
① 荒廃農地の発生抑制と解消				
農地パトロールの実施 地区担当の推進委員、農業委員、市及び事務局職員合同で、道路からの目視や立ち入りによる調査を実施した。 ・実施期間：R6.8.9～R6.9.19	農地パトロールの実施 関係機関等と連携し、8月から9月にかけて農地パトロールを行い、現状や課題の把握を行う。	農業委員会		

<p>荒廃農地再生事業費補助金事業 荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等に支援を行った。 ・補助実績：5件、1.1ha、4,685千円</p>	<p>遊休農地再生事業費補助金事業 遊休農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等の支援を行う。 ・補助率：1/2（上限1,000千円/件） ・補助加算の要件（地域農業の課題解決につながる内容）に該当する場合は補助上限額最大150万円</p>	<p>農政課</p>
<p>農地利用の最適化 利用権設定や農地中間管理事業により担い手への集約化のための有効活用を図った。耕作放棄地解消に向けた現状と解消方法については、3月に関係機関による協議会を開催し、情報の共有化を図った。</p>	<p>農地利用の最適化 システムを活用し、担い手への農地の集約化を推進することで耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、農地利用最適化協議会において、関連機関で情報の共有化を図り、耕作放棄地の解消に努める。</p>	<p>農業委員会</p>

②農地の集積・集約化

<p>農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用した、担い手への農地の集積・集約化を支援した。 ●地域集積協力金 ・該当なし ●集約化奨励金 ・該当なし ●農地の大区画化・集約化推進事業 ・該当なし</p>	<p>農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。 ●地域集積協力金 ・機構の活用率に応じて交付する。 （1.3万円～3.4万円/10a） ●集約化奨励金 ・地域の団地面積の割合に応じて交付する。 （1.0万円～3.0万円/10a） ●農地の大区画化・集約化推進事業 農地の面的な集約化や畦畔除去による農地の大区画化の取組に対して交付する。 （畦畔除去等の簡易な整備） ・補助額：50千円/10a以内</p>	<p>農政課・生産流通課・農業委員会</p>
<p>地域計画の策定 「人・農地プラン」を法定化した、概ね10年後における地域の農地利用の姿（目標地図）をまとめた「地域計画」について、農業委員会や各関係団体（県、JA、中間管理機構等）と連携を図りながら、意向調査の実施、地域協議の場の開催を行い、地域農業者等の意見を反映した全34地域の計画を策定。 ・34地域内訳（久留米17、田主丸7、北野4、城島3、三潴3）</p>	<p>地域計画の推進 令和6年度に策定した地域計画で定めた方針に基づき、農地の集積・集約等を行う取組を実行する。 また、定期的に地域協議の場を開催し、取組の進捗整理や課題の共有、変更内容の協議を行い、地域計画（目標地図）を更新する。</p>	<p>農政課・農業委員会</p>

③優良農地の確保

<p>農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、適切に整備計画の変更を行った。 ・除外8件 9,631㎡ ・編入1件 958㎡</p>	<p>農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、農地の確保を図りながら、適切な整備計画の管理と、申出に応じた一部変更を行う。</p>	<p>農政課</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	------------

3. 農業・農村の多面的機能の発揮

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業・農村の持つ多面的機能の維持に取り組む活動農地面積の割合 (農村森林整備課)	%	70	68	70	70	71	71	75



① 多面的機能の維持・発揮

<p>多面的機能支払事業交付金 農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（103 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行った。 ・負担率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 ・事業実績：291,252 千円(対象 103 組織) (国 145,625 千円、県 72,812 千円、市 72,815 千円) ・田んぼダム促進事業 6,230 千円</p>	<p>多面的機能支払事業交付金 農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（108 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行う。 ・負担率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 事業費：329,814 千円(対象 108 組織) (国 164,907 千円、県 82,453 千円、市 82,454 千円) ・田んぼダム促進事業 11,944 千円</p>	農村森林整備課
<p>中山間地域等直接支払交付金 第 5 期 (R2～R6) 対策において、協定に基づいて実施された地域の農業生産活動に対して支援を行った。 ・補助実績：6 集落 (380 戸)、約 132ha 10,590 千円 (国 5,295 千円、県 2,647 千円、市 2,647 千円)</p>	<p>中山間地域等直接支払交付金 耕作条件が不利な中山間地域の多面的機能の維持・保全に取り組む水縄集落の活動を支援する。 令和 7 年度から令和 11 年度までの第 6 期策定計画により事業実施となる。 ・補助率 (額)：8 千円/10a (国 1/2、県 1/4、市 1/4) ・集落協定：6 集落 約 132ha (森部、石垣、大井、二田、益永、麦生) 事業費：10,590 千円 (国 5,295 千円、県 2,647 千円、市 2,647 千円)</p>	農政課・田主丸産業振興課

【R7年度 施策の方向性】

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立

《生産基盤の整備・防災減災対策》

土地改良事業で造成した農業水利施設の経年劣化による機能・効用低下を未然に防ぐため、県や土地改良区等の施設管理者と連携し、施設の機能更新に取り組み、施設の機能保全を図っていく。

また、クリークや防災重点農業用ため池の浚渫、用排水施設や井堰等の改修、排水機場の新設により、農業用施設が持つ防災・減災機能を保持し、クリークの先行排水、ため池の低水位管理、田んぼダムなどの農業用施設を活用した治水対策を推進し、洪水等による浸水・湛水災害の軽減を図っていく。

農地の大区画化など、農業者が主体となる基盤整備については、関心が低い傾向があるため、関係者への情報提供を行い、理解促進を図っていく。

《農地の有効利用》

農業委員会、市と連携して「利用状況調査（農地パトロール）」や「遊休農地（荒廃農地）の発生・解消状況に関する調査」により、農地の状況把握に努め、農地として活用されていない所有者に対し「利用意向調査」を行うことで、農地の有効利用を促進する。

また、自ら耕作できない所有者に対し、担い手への農地をあっせんするとともに、認定農業者等が遊休農地を取得又は借り受けて農地の再生に取り組む経費に対し支援を行うことで、遊休農地の予防・解消につなげていく。

さらに、概ね10年後における地域の農地利用の姿（目標地図）をまとめた「地域計画」において、継続して地域の農業者や農業関係団体等と意見を交わし（地域座談会の開催）、将来にわたって地域農業の担い手を確保しながら農地の有効利用を図っていく。

今後も、効率的で安定的な農業経営を推進するため、農業委員会や関係機関と連携しながら、農地中間管理事業の活用など、認定農業者等の基幹的な担い手への農地集積を推進していく。

《多面的機能の維持・発揮》

農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、国の多面的機能直接支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用し、農用地の草刈り、水路の泥上げなど多面的機能を支える活動や、水路、農道などの補修による施設の長寿命化などの、農業者と地域で行う共同活動を支援する。

また、田んぼダム促進を図るため、地元との協議を進め、上流域の自治体への協力依頼を行いながら、国や県に対し、広域的な取り組みの調整や田んぼダム導入への支援を要望していく。

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進

「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農業以外の様々な分野や関連団体・関連産業と連携し、久留米市の農業や農産物、農村の魅力を発信します。

また、農業の公益的機能や地産地消の推進等を通じて、市民に愛される「農業都市・久留米」を目指します。

1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上

指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
福岡都市圏での農業都市久留米の認知度 (農業の魅力促進課)	%	18.8	—	—	—	58.6	41.1	50



①久留米産農産物の効果的な情報発信

<p>安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力をPRする動画を、イベントや久留米市農産物販売力強化推進協議会が直売所やスーパー等に設置しているモニターで放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事（農業まつり、市場まつり）での放映 ・野菜の日に合わせた庁舎1階での放映 ・市内直売所等に設置しているモニターでの放映 	<p>安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力をPRする動画をイベントやデジタルサイネージ、久留米市農産物販売力強化推進協議会が直売所やスーパー等に設置しているモニターで放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図る。</p> <p>また、これまで作成した素材をより有効活用できるよう再編集を進める。</p>	農業の魅力促進課
<p>大都市圏の市場関係者等に向けたPRイベント 大都市圏の市場関係者等を対象にPRを行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図った。</p> <p>【福岡市中央卸売市場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R6.10.29(火) ・内容：柿とトマトをメインとしたトップセールス <p>【大阪市中央卸売市場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R6.11.1(金) ・内容：サラダ菜とリーフレタスをメインとしたトップセールス <p>(事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>大都市圏の市場関係者等に向けたPRイベント 大都市圏の市場関係者等を対象にPRを行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月(予定) 福岡市中央卸売市場 ・11月(予定) 大阪市中央卸売市場 <p>(事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	農業の魅力促進課
<p>青果市場等への視察 大阪以西の青果市場または小売店などへの視察に向け、農業団体と意見交換を行った。</p>		

R6年度 実績報告	R7年度 実施計画	担当課
<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR 博多駅で久留米農産物マルシェを開催し、アンケートを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R6.9.6(金) ・内容：久留米産農産物及び6次産業化商品販売し、「農業都市・久留米」のPRを行った。 <p>(事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR 大都市圏で久留米の農業・農産物についてマルシェ等を開催し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図るとともに、農業都市ブランド力強化のために久留米農業のファン獲得を図る。</p> <p>(事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	農業の 魅力促進課

②「道の駅くるめ」における情報の受発信

<p>「道の駅くるめ」の情報発信力向上 出荷物等調製施設を活用し、魅力的な農産物の集荷体制について、指定管理者と協議・検討しながら強化に努めた。</p> <p>また、デジタルサイネージの設置や、観光部局と連携しイベント広場での東部地域の観光名所等のPRにより、近隣地域へのさらなる周遊を促した。</p>	<p>「道の駅くるめ」の情報発信力向上 大型屋根や出荷物等調製施設を活用し、魅力的な農産物の集荷体制・販売力の強化に努めることで、久留米産農産物の魅力を発信する。</p> <p>また、デジタルサイネージ等で近隣地域へのさらなる周遊を促す。</p>	農業の 魅力促進課
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------

③緑花木のブランド力向上と需要の喚起

<p>緑花木の情報発信 つつじまつりやつばきフェア等の緑花木関連のイベント開催を支援し、チラシや市HP、公式ライン等SNS、さまざまな媒体を活用し、魅力発信を行った。</p> <p>また、久留米地域植木・花卉市場連絡協議会が行う、農業まつりや植木まつりでの緑花木PRに対して、支援を行った。</p> <p>さらには、久留米花卉園芸農業協同組合が行う、花きのPRイベントなどに対して、機会や場所の提供などの支援を行った。</p>	<p>緑花木の情報発信 道の駅くるめのイベント広場を活用した、緑花木PRイベントの開催、つつじまつりやつばきフェア等の開催を支援し、「久留米つつじ」や「久留米つばき」等の久留米産緑花木の魅力発信を図る。</p>	農業の 魅力促進課
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------

<p>久留米つつじのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元関連企業や姉妹都市、ふるさと大使等へアザレアを進呈し、PRを行った。(42箇所 47鉢) ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するとともに、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施校：1校 ●ふるさとくるめ農業まつりで、アンケート回答者へ久留米アザレアを配布し、PRを行った。 <p>開催日：R6.11.9(土)・10(日)</p> <p>配布数：200鉢</p> <p>久留米市世界つつじセンターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市庁舎ロビーに久留米つつじを展示・PRを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示期間：R6.4.8(月)～12(金) ●久留米つつじを始めとした、ツツジ類の保存育成を行った。 	<p>久留米つつじのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するにあわせて、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図る。 ●ふるさとくるめ農業まつりでのPR <ul style="list-style-type: none"> 久留米アザレアを配布し、実際に緑花木の魅力に触れることで、緑花木への愛着等の醸成を図ることで、消費拡大につなげる。 <p>久留米市世界つつじセンターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●久留米つつじの更なる品種の収集に努め、その情報を発信する。 ●市庁舎等に久留米つつじを展示し、PRを行う。 ●久留米つつじを始めとした、ツツジ類の保存育成を行う。 ●久留米つつじ生産者への親木の提供など多様な品種の生産振興に努める。 ●ナショナルコレクション認定に伴う、久留米つつじ及びセンターのPR動画の作成支援を行う。 	<p>農業の魅力促進課</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

2. 地産地消を通じた魅力発信

指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
地産地消を意識している市民の割合(農業の魅力促進課)	%	52.7	—	54.0	52.1	50.6	54.2	65



①久留米産農産物を購入・消費できる環境整備

<p>久留米産農産物の表示強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 <ul style="list-style-type: none"> キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援制度を設けたが、申請がなかった。 ●スーパーや小売店での表示強化 <ul style="list-style-type: none"> 市内のスーパーやJAと連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備した。 <ul style="list-style-type: none"> ・支援実績：1団体 (JA) (R6年度末時点 9店舗設置) <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p> 	<p>久留米産農産物の表示強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 <ul style="list-style-type: none"> キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援を行う。 ●スーパーや小売店での表示強化 <ul style="list-style-type: none"> 市内のスーパーやJAと連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備する。 <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p> 	<p>農業の魅力促進課</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

<p>地産地消推進店の拡充と PR</p> <p>●地産地消推進店の PR 地産地消推進店の PR チラシ(121,000 部)を作成し市広報誌に折り込むとともに、市の HP 等で広く PR した。 ・店舗登録数 210 店 R7.3 末時点</p> <p>●地産地消推進店の情報 地産地消推進店に対して「地産地消通信」を発行し、イベントへの参加案内等の情報提供を行った。</p>	<p>地産地消推進店の拡充と PR</p> <p>●地産地消推進店の PR 市の HP や農業まつり等のイベントにおいて広く PR する。</p> <p>●地産地消推進店の情報 地産地消推進店に対して「地産地消通信」を発行し、イベントへの参加案内等の情報提供を行う。</p> <p>●地産地消の PR 事業 地産地消の取組みに積極的な地産地消推進店を応援する PR イベントや SNS 等を用いて地産地消の情報発信を行う。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

②久留米産農産物の消費拡大と理解促進

<p>学校給食への導入支援</p> <p>久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的に JA くるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進した。 ・納入実績：2.7 t (R6.6.4(火)～R6.6.14(金))</p>	<p>学校給食への導入支援</p> <p>久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的に JA くるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進する。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

R 6 年度 実績報告	R 7 年度 実施計画	担当課
<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR</p> <p>●農産物マルシェの開催 ゆめタウン久留米等でのマルシェを予定していたが、店舗側との調整ができなかったため未実施。</p> <p>●久留米産農産物 PR 動画放映 直売所等の電子ポップモニターで「くるめさん、ぐるめさん」の放映や、市内デジタルサイネージで PP 画像を映し出し、久留米産農産物の PR を図った。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR</p> <p>●農産物マルシェの開催 市内量販店で久留米産農産物マルシェを開催し、市民の久留米の農業・農産物への理解促進とともに、市内での消費拡大を図る。</p> <p>●久留米産農産物 PR 動画放映 直売所等に設置した電子ポップモニターや、市内デジタルサイネージ等で「くるめさん、ぐるめさん」等を放映し、久留米産農産物の PR を図る。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
<p>久留米産農産物の料理講習会</p> <p>久留米産農産物を使った料理講習会を久留米市食生活改善推進員協議会と連携して開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図った。 ・開催実績：20 回、323 人</p>	<p>久留米産農産物の料理講習会</p> <p>久留米産農産物を使った料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>

③久留米市食育推進プランの推進

<p>食育ギャラリーの開催</p> <p>久留米市食育推進会議の各専門部会並びに食育関連団体等と連携し啓発展示を、農業まつりと同時開催した。 ・開催日：R 6.11.9(土)・10(日) (事業主体：久留米市食育推進会議)</p>	<p>食育啓発展示の開催</p> <p>各種イベントや公共施設等で、パネル展示等を通じて「食」と「農」及び食育の理解促進を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------

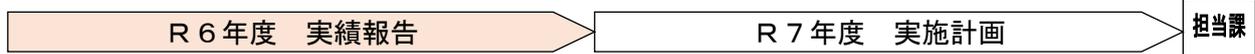
<p>食育通信の発行 毎月 19 日に、市公式ラインを活用して、食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行った。</p>	<p>食育通信の発行 毎月 19 日に、市公式ラインを活用して各基本施策の取組を記載した食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行う。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

④中央卸売市場における集出荷機能の強化

<p>生産者・市場関係者との意見交換 市場関係者（卸・仲卸・生産者）による意見交換会を行い、青果物の高付加価値化の検討を行った。 また、学校給食会（栄養士等）を対象にした市場見学会・懇談会を開催し、市場の理解促進を図った。</p>	<p>生産者・市場関係者との意見交換 市場関係者等による定期的な情報交換や理解促進を図る取組を進めることで、集出荷機能の強化を図る。</p>	<p>中央卸売市場</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	---------------

3. 農業の公益的機能等の理解促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
体験交流事業及び学童農園への参加人数（生産流通課・農業の魅力促進課）	人	21,000	12,778	8,124	8,455	9,588	8,184	23,200
農業・農村の持つ多面的機能の認知度（農業の魅力促進課）	%	42.2	—	41.6	45.4	51.5	55.3	65



①農業・農産物の理解促進

<p>ふるさとくるめ農業まつりの開催 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進した。 ・開催日：R6.11.9(土)・10(日)</p>	<p>ふるさとくるめ農業まつりの開催 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進する。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
<p>体験交流促進対策事業 ●学童農園設置事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を行った。 ・実績：38校（44校中）</p>	<p>体験交流促進対策事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を図る。</p>	<p>生産流通課</p>
<p>中央卸売市場による情報発信 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向けたイベント等を実施した。 ・市場まつり（11月23日） ※来場者 1.5万人 ・夏休み子ども市場探検隊（7月） ・いちば de マルシェ（11回開催） ・市内店舗での市場 PR（2回実施）</p>	<p>中央卸売市場による情報発信 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向け、市場まつり（時期未定）、いちば de マルシェ（毎月第三土曜日）などを実施する。 また、市場内関係者が連携して、市内店舗等で PR イベントを実施する。</p>	<p>中央卸売市場</p>

②多面的機能への理解促進

<p>イベントや公共施設等での情報発信</p> <p>食育ギャラリーや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館展示：R6.5.23(木)～6.26(水) ・食育ギャラリー：R6.11.9(土)・10(日) 	<p>イベントや公共施設等での情報発信</p> <p>農業まつりや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

【R7年度 施策の方向性】

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進

多彩な農産物や自然、歴史、景観などの地域資源と農業が持つ様々な魅力を有する「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農産物マルシェの開催や、都市圏でのトップセールスの実施に取り組むとともに、様々な分野や関連団体等と連携してPRを行う。また、道の駅くるめや中央卸売市場などにおいて、安全安心な久留米産農産物の情報発信を効果的に行うとともに、学童農園設置事業やふるさと農業まつり、市場まつりなど生産者と消費者との交流を行い、農業・農村の持つ多面的機能の市民理解を促進する。

また、久留米市世界つつじセンターや久留米つばき園等の名所を活用し、久留米つつじや久留米つばきをはじめとする緑花木のPRを行うとともに、植木・花き関連団体と連携して公共施設での緑花木展示や市のイベントへのPRブース出展などにより、久留米産緑花木の魅力向上及び消費拡大に繋げる。

さらに、市内直売所等店頭での「久留米産」表示の強化や久留米産農産物へのキラリ久留米ロゴマーク導入支援により、久留米産農産物を購入・消費できる環境を整備するとともに、教育委員会や様々な団体と連携し、学校給食への久留米産農産物の導入促進や、久留米産農産物を使った料理講習会の開催などに取り組み、地産地消を推進する。

【基本施策V】 多様な農業への挑戦

農産物の付加価値向上を目指した農業者による生産と加工・販売の一体化等に向けた取組を支援するとともに、多様な販売方法等に挑戦する農業者を支援します。

また、農家所得向上を目指し、豊かな自然や農業体験などの地域資源を活用した農村地域の活性化に取り組みます。

1. 農業経営の多角化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
6次産品の商品の開発・改良・販路拡大を支援した件数 (農業の魅力促進課)	件	6	2	6	10	11	16	40 (累計)



①新たな商品の改良・開発支援

<p>【新規】6次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者の久留米産農産物を活用した農産加工品開発に係る取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品開発：2件、403千円 (スイートコーンペースト、冷凍空心菜) 商品改良：1件、240千円 (ビーツレトルトカレーの改良) コンサルティング支援：1件、294千円 (冷凍空心菜開発に係るコンサルティング) 	<p>6次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者及び農業団体等、教育機関、食品関連企業が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発や加工商品の改良に係る取組について、支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品開発：補助率 1/2 (上限 500千円/件) 商品改良：補助率 1/2 (上限 500千円/件) コンサルティング支援：補助率 1/2 (上限 300千円/件) 	農業の魅力促進課
<p>【新規】6次産業化等スタートアップ事業 6次産業化等に関する相談の場として毎月6次産業化相談会の開催や、相談者の農地・加工場へのアドバイザーの派遣を行い、新規の6次産業化に取り組む農業者等の掘り起こしを行い、更なる推進を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績:23件 (開催 R6.5~R7.3) 	<p>6次産業化等スタートアップ事業 6次産業化に関する相談の場として毎月6次産業化相談会の開催や、相談者の農地・加工場へのアドバイザーの派遣を行い、新規の6次産業化に取り組む農業者等の掘り起こしを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談会、アドバイザー派遣 (R7.4~) 	農業の魅力促進課
<p>【新規】6次産業化マルシェ 6次産業商品をテスト販売し、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握など、より付加価値の高い商品へ改良につながるようマルシェを道の駅ぐるめにて開催した。 開催日：R6.12.7</p>	<p>6次産業化マルシェ 6次産業商品をテスト販売し、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握など、より付加価値の高い商品へ改良につながるようマルシェを開催する。</p>	農業の魅力促進課
<p>農商工連携の商品開発支援 農業者と商工業者が新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取組に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 久留米製麺所(株)とJA くるめが市特産のかぶを使ったうどん「くるめ蕪太郎」の販路拡大の支援を行った。 	<p>農商工連携の商品開発支援 農業者と商工業者が新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取組に対して支援を行う。農業者側と商工業者側の課題や状況を把握し、効果的な支援を進める。</p>	農業の魅力促進課

②新たな販路拡大への支援

<p>【新規】6次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者が久留米産農産物を活用した農産加工品の販路拡大に伴う取組について、補助金を交付した。 ・販路拡大：1件、307千円 (5割そばバーコード付き商品袋の開発)</p>	<p>6次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者及び農業団体等、教育機関、食品関連企業が久留米産農産物を活用した農産加工品の販路拡大に係る取組や販売内容の改良に係る取組について、支援を行う。 ・補助率：1/2 (上限 500千円/件)</p>	農業の魅力促進課
<p>商談会等出展支援事業 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援した。 ・補助率：1/2 (上限 100千円/件) ・実績：2件、54千円</p>	<p>商談会等出展支援事業 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2 (上限 100千円/件)</p>	農業の魅力促進課

③海外への販路拡大

<p>農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援した。 ①植木輸出に関する研修への参加 ②農産加工品等の海外輸出に向けたPR ・補助実績：2件、137千円</p>	<p>農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援する。 ・団体：補助率 1/2 (上限 400千円/件) ・個人：補助率 1/2 (上限 200千円/件)</p>	農業の魅力促進課
<p>久留米産農産物の販路開拓支援及びPR 香港にて、現地市場調査やPRイベントの実施、輸入取扱業者等の訪問を通して、農産物のPR及び可能性調査を行った。 訪問期間：R7.2.8~2.11 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>久留米産農産物の販路開拓支援及びPR 農業団体等の商談会への出展に係る販路開拓支援や、海外で農産物のPR及び可能性調査を行う。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	農業の魅力促進課
	<p>農産物輸出講演会・相談会 農産物の輸出を始めたい、興味がある農業者等に対し、外部講師等呼んで講演し、個別に相談会を行う。</p>	農業の魅力促進課

2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
くる農・泊まらん農の参加者数 (農業の魅力促進課)	人	400	303	45	192	235	232	630

①農業の理解促進と地域活性化

<p>農業体験等事業(くる農・泊まらん農) くる農については、業務委託により、実施農家の負担軽減を行うことで、実施しやすい体制の推進に努めた。泊まらん農については、久留米耳納グリーンツーリズム協議会に対して、自立に向けた補助金等の交付や、助言等を行うことで、推進を図った。</p>	<p>農業体験等事業(くる農・泊まらん農) 農業体験や農家民泊等に取り組む農家や団体等を支援することで、農業・農村の理解促進を図るとともに、農家所得の向上を図る。</p>	農業の魅力促進課
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

【実績】 (くる農) 91人 (泊まらん農) 141人		
--------------------------------	--	--

②「道の駅くるめ」の周辺施設と連携した地域活性化

<p>「道の駅くるめ」の機能強化</p> <p>大型屋根を活用し、くるめ緑花センター協同組合が開催するグリーンマルシェや、県立久留米筑水高校オリジナル駅弁大会などを指定管理者が地域の主催団体と連携して実施した。また、デジタルサイネージを設置し、地域情報の受発信機能を強化し、地域活性化に寄与した。さらに、急速充電器を更新し、来場者の利便性の向上に努めた。</p>	<p>「道の駅くるめ」の機能強化</p> <p>大型屋根を整備したイベント広場をより効果的に活用することにより、「道の駅くるめ」における農産物販売を充実していくとともに、地域との連携を深め地域情報の受発信機能を強化していくことで地域活性化を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
<p>道の駅くるめ交流研修室の内部外部改修工事の実施</p> <p>交流研修室の一部を改修し、現在の事務所機能を移転した。開駅当初から規模拡大した職員体制に対応することで、働きやすさが向上し、地域活性化に寄与した。出荷物等調製施設などを有効活用し、魅力的な農産物の集荷体制の構築に努めた。</p>	<p>道の駅くるめ施設改修等の実施</p> <p>道の駅くるめの来場者の安全・安心、利便性向上に向けた、非常用放送機器・交流研修室空調設備などの施設更新や、屋外冷凍庫の設置などによるストック機能の強化などを実施することで、道の駅くるめが地域活性化に寄与していくよう努めていく。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>

【R7年度 施策の方向性】

<p>【基本施策V】 多様な農業への挑戦</p>
<p>6次産業化や農商工連携等の農業経営の多角化に取り組む農林漁業者の掘り起こしを行い、福岡県6次産業化プランナーなどの専門家による相談会や事業化に向けた補助支援を行う。また、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握などを行うために6次産業化マルシェを開催し、今後の商品改良につなげてもらうとともに、6次産業化・農商工連携動画を消費者等に向けて発信し、6次産業化商品や久留米の農業、農産物のPRを行う。</p> <p>海外への販路拡大については、関心を持つ農業者及び農業団体向けの相談会開催や、農業者等の商談会への出展支援、海外での農産物のPR及び可能性調査などを通して、輸出に取り組む農業者の掘り起こしを図るとともに、久留米産農産物の国内外への販路拡大を目指す。</p> <p>農村地域の資源を活用した地域の活性化については、大型屋根を設置した道の駅くるめのイベント広場を活用し、地域や団体と連携したイベントや、デジタルサイネージによる情報発信を行うことで多くの誘客と地域への周遊を図っていく。また、新設された出荷物等調製施設や各種施設改修により、職員の働きやすさとともに、来場者の利便性が向上することで、地域活性化に寄与していく。</p> <p>さらに、農業体験等事業(くる農・泊まらん農)に取り組む農家や地域の魅力を情報発信し、都市と農村の交流を通じた農業・農村の理解促進を図るとともに、地域活性化に繋げ、「農業都市 久留米」の認知度向上を図る。</p>